

新規就農者(自営) 新規学卒 2

氏名	鈴木 隆弘さん(25才)
家族構成	両親、祖父母
市町村	郡山市
ホームページ	
就農形態	新規学卒



1 経営の概要

- (1) 主な営農部門と規模 : 水稲 7ha、花き(トルギキョウ、ストック) 8a
- (2) 労働力 : 本人、父(50代)、母(50代)、祖父(70代)
- (3) 販売方法 : 米:JA出荷、花:JA出荷、直売所
- (4) 営農上の特記事項 : 米は特別栽培、エコファーマー、水稲直播栽培、水稲種子生産
平成20年より新規にさくらんぼの平棚栽培を始める。

2 プロフィール

- ・昭和59年 郡山市生まれ
- ・平成17年 農業短期大学卒業
- ・平成17年 学園入学
- ・平成19年 学園卒業後、研究科で1年間
- ・平成19年 種苗会社ムカシトの経営する「花みどり」(ムカシト農場)で1年間研修
- ・平成20年 就農

3 就農の動機

自分が農家の長男のため、家を継ぐかたちで就農することになった。

4 就農時の取り組み

- (1) 就農を決意した理由
父親の説得で。
- (2) 就農するまでの経過と年数
プロフィール通り。
- (3) 技術の習得方法
農業学校 農家研修 種苗会社での研修。
- (4) 過去の農業従事経験
なし
- (5) 農地の確保方法
- (6) 資金の確保方法
ア 自己資金総額 万円
イ 借入れ 万円
- (7) 住宅の確保方法
ア 持ち家(実家)

- (8) 地域とのつきあい・所属団体など
 - ア 消防団、JA花き部会、郡山市農業青年会議所（あおむしくらぶ）
 - イ 地域団体に所属して地域との交流を深めるようにしている。
- (9) 生活を支えた補助的収入
 - 月給制（経営主から給料としてもらっている）
- (10) その他（努力を要したことなど）



5 国・県・市町村等の受け入れ支援措置の活用

- (1) 利用した支援制度：就農研修資金、経営開始支援資金、新規就農定着促進事業の活用
- (2) 役に立った支援：上記の支援制度

6 就農しての感想

- (1) 良かったと思うことなど
 - 時間に拘束されないこと。
- (2) 苦勞したことなど
 - 忙しい時期は時間が思うようにとれないこと。

7 今後の目標・方針

水稻の規模を10ha位までに拡大したい。
主に花きの生産技術を向上させたい。

8 新規就農を目指す人へのアドバイス

中途半端な気持ちでは就農しないでほしい。就農の仲間が増えるのはうれしい、特に若い就農者には増えてほしい。